

高蔵寺ニュータウン50周年記念出版

ニュータウンの 計画資産と 未来のまちづくり

高蔵寺ニュータウンの50年に学ぶ

服部 敦 著

中部大学教授(工学部都市建設工学科)。工学博士。
都市計画、都市デザインに関する教育・研究のかたわら、
各地のまちづくりの計画策定、地域プロジェクトの企画・
運営などを支援。2013年愛知県春日井市市政アドバイザー
(主に高蔵寺ニュータウン担当)に就任。「高蔵寺リ・
ニュータウン計画」をリードしている。

高蔵寺ニュータウンは、入居開始から50年を経て、4万人以上の人口を抱える住宅都市になった。高度成長期、この新たな住宅都市を創造するために、気鋭の都市計画者が集められ、意欲的なマスタープランがつけられた。

計画者たちはそこにどんな思想をこめたのか。それは、現在、どのような資産として表われているのか。住民、行政などの連携・協働を高めつつ、ニュータウンのリノベーションに取り組む筆者が、当初の設計図をひもといて計画意図を明らかにし、未来のまちづくりを考える。新しいまちの設計図を次の世代に手渡すために。

目次

第1章

ニュータウンのいまの姿と50年間

1. 三大住区と幹線道路
2. ワンセンターとオープンコミュニティ
3. ペDESTリアン・デッキと都市軸
4. 緑道とオープンスペース
5. 集合住宅群と戸建住宅地
6. 計画されない資産・人々のつながり

第2章

マスタープランが描いた未来

1. 1960年代に描かれた「明日の高蔵寺」の姿
2. 策定プロセスからたどるマスタープランの本質的なねらい
3. マスタープランが残した課題

第3章

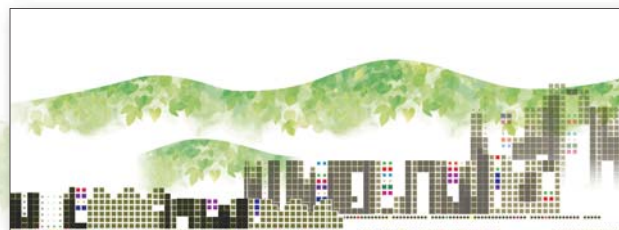
リ・ニュータウン計画の目指す未来

1. ニュータウン問題の顕在化
2. リ・ニュータウン計画に至る経緯
3. リ・ニュータウン計画の構成と概要
4. リ・ニュータウン計画の実施状況
5. ニュータウンの計画資産を活かしたまちづくりへ

付録1 高蔵寺ニュータウン50年の年表

付録2 50年の変遷をたどる諸データ

著者 服部 敦
企画制作 高蔵寺ニュータウン
50周年記念出版制作委員会
編集協力 有限会社 編集企画室 群
発行 ぐんBOOKS



服部 敦 著

高蔵寺ニュータウンの50年に学ぶ
ニュータウンの
計画資産と
未来のまちづくり

高蔵寺ニュータウン50周年記念出版

50年前、高蔵寺ニュータウンを描いた
まちの設計図を、
私たちは、
どう未来に手渡せばよいのだろうか。

高蔵寺ニュータウンの次の50年へ――。
1968年、入居開始からの50年を振り返り、未来に向けたまちづくりを考える。

サイズ ■新書版(縦173mm×横115mm)
ページ数 ■本文208ページ(カラー8ページ)
定 価 ■1200円+税



ご注文・問い合わせ

高蔵寺まちづくり株式会社(担当:石川・豊田)
春日井市藤山台1-1 グルッポふじとう3F
TEL.0568-37-4922 FAX.0568-92-5791
E-mail/machi@koz-nt.com